

春のアブラゼミ 第6日目 前置詞＋名詞の切り分け②

組 () 番号 () 氏名 ()

In the study, reported in the April issue of Pediatrics, the parents of 1,345 children were questioned about their children's viewing habits and then about their behavior at the age of seven. The children who had watched television the most were more likely to rank in the top 10 percent for concentration problems, impulsiveness, restlessness and confusion. The researchers said that each hour of television children watch per day up to the age of three raises by 10 percent the risk that they will have attention problems at age seven.

【名古屋大学】

和訳

参考

- ・ Pediatrics = 小児科
- ・ A is questioned about B. = AはBについて取り調べを受ける
- ・ viewing habits = テレビを見る習慣
- ・ be more likely to ~ = ~する可能性が高い、~する傾向が強い
- ・ concentration problems = 集中力の欠如
- ・ impulsiveness = 衝動的であること
- ・ restlessness = 落ち着きがないこと、情緒不安定
- ・ confusion = 錯乱状態、意識の混濁
- ・ per day = 一日当たり
- ・ up to the age of three = 三歳児までは
- ・ attention problems = 注意力障害

英文の読み方

1. 前置詞＋名詞は他の部分から切り分けて形容詞か副詞かを考える。
2. and、but、or が出てきたら直後に注目し、直前に同じ形を探す。
3. a、an、the が出てきたら名詞を探す。
4. 助動詞の後ろには動詞がある。be ~ to や ~ to を助動詞考えれば簡単に動詞が見つかる。
5. 文中副詞の後ろには(一般)動詞がある。文中副詞のほとんどが「-ly」の形をしている。
6. 文頭に前置詞＋名詞があり、直後に動詞があれば、完全逆転型の倒置。
7. 文頭に否定語があり、直後が疑問文の並び方なら、疑問文型の倒置。
8. 省略は「同型反復」に注目すればすぐ分かる。
9. A of B が出てきたら「BがAする」「BをAする」「Bの持つA」「BというA」「AのB」を特定する。
10. that、-ing、to-が出てきたら「名詞」「形容詞」「副詞」を特定する。、-ing のコンマ(,)の省略に注意。

訳出上の留意点

- ・ 「children watch」の文には、目的語の欠落があることに気が付いているか？
- ・ 「by 10 percent」の by が「差の by」であることが分かるか？
- ・ 「they will have attention problems」の文には欠落がないことに気づいているか？

<見取図>

・ In the study, reported in the April issue of Pediatrics, the parents of 1,345 children were questioned about their children's viewing habits and then about their behavior at the age of seven.

In the study

reported in <the April issue>of<Pediatrics>

<the parents>of <1,345 children>	were	questioned
A	=	Bされた

about their children's viewing habits
and then
about their behavior at the age of seven

- * in the study は文頭にあるので「副詞」。
- * the parents of 1,345 children の A of B は children's parents と言えるので「所有格の of」。
- * and が出てきたら、直後に注目するのだけど、and then がセットだと考えて、直後は about + 名詞、直前にも about + 名詞があるのを確認。ここから、親たちが質問された内容が2つあることが分かる。

【全訳例】「小児科学」の4月号に報告された研究の中で、1345人の子供達の親が、子供達のテレビを見る習慣について、またその後7歳になった子供の行動についてアンケートをうけた。

・ The children who had watched television the most were more likely to rank in the top 10 percent for concentration problems, impulsiveness, restlessness and confusion.

The children	(were more likely to) rank
主	ランクを占める

in the top 10 percent
for
concentration problems
impulsiveness
restlessness
and
confusion

who watched television the most

- * be likely to ~で「~する傾向が強い」。more likely to の more は「他の子よりも」が省略されている。
- * who から始まる飾りは、助動詞 were more likely to で終わる。
- * rank in the top 10 percent で「上位10%にランクされる」。for は「理由の for」だから、rank in the top 10 percent for concentration problems だと「集中力の欠如という理由で上位10%に入る」が原義。

【全訳例】最も多くテレビを見ていた子供は、集中力の欠如、衝動的であること、落ち着きがないこと、混乱などで上位10%にランクされる傾向が強かった。

・ The researchers said that each hour of television children watch per day up to the age of three raises by 10 percent the risk that they will have attention problems at age seven.

The researchers	said	that+文
主	言った	何を

<文>

by 10 percent

<each hour>of<television>	raises	the risk
主	上げる	何を

that they will have attention problems at age seven

[that] children watch per day up to the age of three

* two hours of discussion なら「2時間の話し合い」、two hours of television なら「2時間のテレビ視聴」が良い。これは two cups of coffee と同じで「単位・数量の of」。でも、each hour of television を「それぞれ1時間のテレビ視聴」とやると上手く行かない。each A で「Aするたびに」の意味があり、each turn of a page なら「ページを1つめくるごとに」、each hour of television なら「テレビを1時間見るごとに」となる。

★ two hours watch of television とは言わないの？

* children watch ~のSVには目的語Oが欠落しているので、直前に関係代名詞 that が省略されていることに気がつく。問題は、この飾りがどこまで続くかということ。よく見ると助動詞はなさそうだから、現在形、過去形、完了形に注目して動詞を探す。

* up to A で「Aまで」。up to now で「今まで」、up to last year なら「去年まで」。だったら up to the age of three で「3才まで」。

* by 10 percent の「前置詞+名詞」を他の部分から切り分けて、その働きを考える。この by が「差の by」だと分かれば「10%だけ上がる」の意味の副詞だと判断できる。by 10 percent の挿入のお陰で、V+Oのつながりが見えにくくなっている。だから、いつも「前置詞+名詞」を他から切り分けるクセをつけておくと良いね。

* the risk の直後の that + 文には欠落がない。ならば、この that は関係代名詞ではない。関係代名詞じゃないのに直前の名詞を飾っている（具体的に説明している）のは「同格の that」。

【全訳例】3歳までの子供の1日当たりテレビを見る時間が1時間増える毎に、その子供が7歳になったとき注意力障害の問題を抱える危険性が10%ずつ増えると研究者たちは述べた。

★この同格も the risk is that they will have attention problems at age seven. と言える。